

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

イマジン ロータリー



クラブの未来を描き
ロータリーを楽しもう

RI会長 ジェニファー・E・ジョーンズ 2022～2023

富津中央RC会長 須藤 隆

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2693 第14回例会 2022. 10. 27 晴

点 鐘：須藤 隆 会長

進 行：朝月真次郎 SAA

ソング：我らの生業

お客様：三木真紀子 様

会長挨拶

須藤 隆 会長



皆さんこんにちは。三木様、ようこそ私どもの例会に足を運んでいただき有難うございます。この例会を通じて富津ロータリークラブの雰囲気を感じ取っていただき、私どもクラブに関する理解を深めて頂ければ幸いです。1時間の例会をどうかごゆっくりとお過ごし下さい。

今日はおお客様の三木さんがお見えですのでロータリーについて少しばかりお話ししてみたいと思います。

10月18日の日本経済新聞に、一面を使って、ロータリーを紹介する広告記事が掲載されていました。そこには、今年7月に女性として初めて国際ロータ

リーの会長に就任したジェニファー・E・ジョーンズ氏が写真入りで紹介されていました。彼女が掲げたスローガン「イマジン ロータリー」のもとにロータリーは世界を変える行動人として活動すると、大きな見出しになっていました。

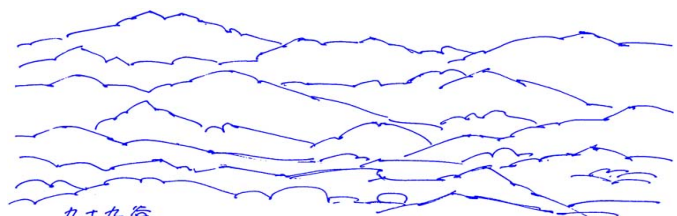
多くの会員はご存じかと思いますが、最近入会された方にはご存じない方もいると思いますのでロータリークラブはどのような組織かについて簡単に触れてみたいと思います。

ロータリークラブは、1905年に米国シカゴで弁護士をしていたポール・ハリスが仲間と共に、様々な分野の職業人が集まって、相互に信頼し合い、知恵を寄せ合い、生涯にわたる友情を培うことのできる場を作りたいと考え、設立されました。ロータリークラブの名は集会を持ち回りで、順番に各自の事務所で開いたことに由来します。

その思いが世界に広まり、115年以上の歴史を重ねた結果、今では世界200以上の国と地域でクラブ数は4万6千以上、会員数は120万人以上の国際的な組織になりました。日本では全国でクラブ数は約2300、会員数は約9万人です。千葉県では82クラブ、会員数約2800人で、14のグループに分かれております。当クラブが属しているグループは、第5グループで、富津、君津、木更津地区にある7クラブで形成されています。

クラブは7月を起点として、年間の活動計画書を毎年作成し、その計画書の下に1年間の活動を

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3
いち川旅館
Ichikawa ryokan
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,
293-0043
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



実践しています。活動としては毎週木曜日の1時間の例会、地域のニーズを捉えた奉仕活動(子ども食堂支援、花いっぱい運動、海岸清掃等)、旅行や趣味の親睦活動等があります。

ロータリーは、奉仕する団体ではなく、自身の職業を通じて「最も奉仕する者、最も報われる」というロータリーの理念に基づき、個人が職業奉仕を実践することが最も肝要としております。

最後に私自身のロータリーの価値観について手短かな言葉で表現してみたいと思います。

ロータリーの仲間との交流、親睦を人生の一部として楽しみ、友情と他人を思いやる心を育むことを大切にし、その結果として、自分と異なる業種や業界で活躍した有為な仲間との交流が自己研鑽に繋がり、自分自身を成長させる礎になっていることに、私のロータリーとしての価値観があります。

幹事報告

相川恵津子 幹事



皆さんこんにちは。

先日熊野古道を歩いて来ました。3km位先人が歩いたという道をたどりました。昔の人はすごいなと思いました。京都からひと月かけて往復するのですから。

来週11月3日は例会が休みですが、4日は子供食堂があります。応援出来る方はよろしく願います。また6日はアクアマラソン大会です。お手伝い頂ける方、朝早いですがこちらもよろしく願います。

- ① コーディネーターニュース 11月号回覧。
- ② 浦安ロータリーから外部卓話の案内回覧。
- ③ 新春講演会開催のお知らせ回覧。

④ 2023年国際ロータリー世界大会案内回覧。

於 メルボルン

最後に23日に国際成田空港でポリオデーが開催され、その動画が地区のホームページに掲載されました。どうぞご覧ください。

会員卓話

朝月真次郎 ライフステージ

<私の趣味と特技と仕事>

朝月真次郎 会員



何の取り柄もなかった私が、「なぜ今この場で卓話をさせていただいているか？」をライフステージに沿って、大きく3つの時代に分けてお話いたします。

Episode. 1「幼児期・学童思春期」

<貧しく何の取り柄もなかった子ども時代>

3才の時に両親が離婚して、貧しかった5才頃の私の唯一の楽しみは、母と毎週土曜日に行く日比谷・丸の内・日本橋・東京の散策でした。五反田の家を出て山手線の有楽町駅で降り日比谷まで歩き、日比谷公園で母が作ったサンドイッチを食べた後、帝劇の前を通って丸の内から日本橋方面に向かい、買い物抜きで、日本橋三越、日本橋高島屋、白木屋(現COREDO日本橋)、大丸東京でウインドウショッピングをして東京駅から帰宅するコースが、私のレジャーであり娯楽でもありました。小学校に入学すると毎年、春休みと夏休みは母の実家・和田浦の親戚の家に預けられることになり、五反田から和田町までのとても遠い道のりのなかで、最初に姿を見せる海、新舞子の景色に魅せられたことは今でも鮮明に思い出されます。またこの時期に初めて映画鑑賞をした作品がディズニーアニメの「バンビ」で、

そのカラーの美しさとキャラクターの魅力に取りつかれました。

今思うと児童期に、「色彩美」「建築美」「庭園美」「植物美」「美しいウィンドウディスプレイ」「海辺の美」に対する感性が養われたと思います。



Episode. 2「青年期」

<あらゆることに興味はあったが何も考えていなかった時代>

中学・高校・大学時代の趣味は、大好きだった街・渋谷での映画鑑賞でした。今思えば映画作品から、例えば「パリの恋人」ではファッション&エンタテインメント、「ティファニーで朝食を」ではラグジュアリー、「裸足で散歩」ではリフォーム、「ファニーガール」ではドラマティックな昂揚、「地獄に墜ちた勇者ども」では耽美・退廃美に対するセンスを習得いたしました。また本編上映前に流れたアパレルメーカー・JUNのCM(タッド若松やアヴェドン)に衝撃を受けましたが、それがアートとの出会いだったと思います。22才・就職の年、教職を志していた私は7月の一次試験を前にした5月、ふと新聞でJUNの募集広告を見て衝動的に面接を受けたところ、合格してしまい、突然の進路変更となりましたがファッション業界へ飛び込んでしまいました。営業職としてJUNに入社した私は、サンローランからモードを学び、店頭では「売る」こと「利益を出す」ことの重要性を痛感させられました。27才、移動先のレディースブランドJ&Rでは毎日のように夜12時まで猛烈に働いたことが思い出されます。30才の春、営業職では異例でしたが、パリをはじめとしたヨーロッパ視察のメンバーに選ばれ、ルーブル美術館、フランス軍事博物館等、映画でみた世界の本物を目の当たりに

して、その美と雰囲気によって圧倒され震え上がりました。35才の秋、幼児期に魅了された新舞子に中古の物件を購入することができ、別荘としての活用でしたが所属ブランドのスタッフを招いたりして「デュアルライフ」を実現しました。仕事面で順調に売上を伸ばし、そのご褒美として37才の秋、「LUNA MATTINO」ブランドのデザイナーとしてデビューさせていただきました。はじめは全く売れずに大変苦労しましたが、ノーブルでセクシーなブランドイメージから宝塚の男役からジャニーズやビジュアル系ミュージシャンまで多くの顧客を獲得し、後にテレビニュースに取り上げられる程のブランドにまで成長いたしました。

今思うと青年期では、海外視察で欧州の「色彩美」「建築美」「庭園美」「植物美」、「パリのウィンドウディスプレイの美」、「南仏の海辺の美」に触れることでセンスを磨き、ファッションの仕事を通して「コミュニケーション力」「営業力」「マーチャンダイジング力」等のスキルを身に付けたと思います。

Episode3. 「～現在」

<今思えば周りの人たちに支えられていた時代>

40才の時、俳優・平幹二郎さんから舞台「ドラキュラ」の衣裳デザイン・制作のオファーをいただいたことで総合芸術の世界への扉が開きました。10作目の松竹製作・日生劇場公演「クレオパトラ」終了後にJUNを退職し、48才で起業して(株)アサツキデザインオフィスを設立し、オリジナルブランド「MOO DetMOON MODEetMOON」を発表すると共にCFD(東京ファッションデザイナー協会)の正会員、NUC(日本ユニフォームセンター)の専門委員になりました。50才の春、東宝様から帝国劇場公演・ミュージカル「エリザベト」の衣裳のオファーをいただき、この作品は今でも定期的に上演されるヒット作となり、私にとっても価値ある重要な作品となりました。55才の秋、東京・港区海岸にとっても小さな土地を購入しフラッグシップショップをオープンさせましたが、この建物は「住宅感覚で店舗を設計する“逆転SOHO”の考え」として雑誌「新建築」と「TITLE」に掲載され、「生活空間と仕事の融合」を実現

することができました。同時に、社名を(株)アサツキデザインエンタテインメントに変更し、オリジナルブランド「THEATRE COSTUME HISTORY」を展開し、「ファッションとエンタテインメントの融合」が弊社のビジョンとなりました。その後、コンサル業もスタートさせ他企業のブランドの再生や構築、コレクション活動等も行いながら、59才で二期会オペラ「La Traviata」の衣裳も手掛けました。60才の秋、縁あって戸板女子短期大学から専任教授としてのオファーをいただいた時、若い世代に私が培っていた知識やノウハウを伝承したい気持ちが高まり受諾し、その後の10年間は教育の現場に携わりながらも、67才には日本テレビ製作「ミュージカル アニー」、70才には二期会オペラ「トゥーランドット」に携わりました。71才の4月、富津への移住を機に社名をLUNAMATTINO・STUDIO(株)に改め、本社は富津に移しました。富津の美しい自然のなかで、改めて我が人生を振り返りますと、ファッションブランドも舞台衣裳もコンサル業も私一人では限りがあり、多くのスタッフやビジネスパートナーの皆様を支えられたうえで、幼い頃から好きだったコトや美しいと感じたモノが仕事に活かされて現在に至った、ということを再認識することができました。

青年期以降、富津の自然に対する愛が芽生え、ライフスタイル全般の美を考えるようになり、仕事を通して修得した「プロデュース力」と「トータルコーディネート力」を駆使して「富津市の文化的かつ豊かな生活の実現」への貢献を人生最後の目標としたいと思います。



ご清聴ありがとうございました。

ニコニコBOX

岡田良弘 親睦担当部員

相川恵津子 朝月会員の卓話を聞かせて頂き。また、三木様をお迎えして。

小野恒靖 //

榎本守男 //

*須藤会長 //

若鍋武良 先週の句会、楽しみました。

* > 1,000円

合計 6,000円

出席報告

平川恵敏 出席担当部員

区分	会員数	出席	免除者 欠席	MUp	出席率
今回	32	21	3	3	82.76%
前回	32	14	7	2	64.00%
前々回	32	21	4	2	82.14%



本日のお客様



本日の食事